

白いまど

2022年
2月1日発行
No.500

February

2



創刊当時の病院前の様子

- 創刊500号記念復刻版発刊によせて P-1
- はじめに愛があった。 P-2
- 病院あちこち P-3
- 病院の施設 P-4
- 医療機器紹介 P-5
- インフォメーション P-6



病院理念

私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

「白いまど」創刊500号記念 復刻版発行によせて

1977年6月創刊の「白いまど」が、45年の時を経て500号を迎えました。これを記念して創刊号復刻版を発行しました。記事と紙質・色合いは当時のものを模しました。

冒頭の『はじめに愛があった。』は創刊号の記事をそのまま掲載しました。県内初の心臓外科手術で心臓病患者さんを救いたいという当時の情熱が伝わってきます。

『病院あちこち』『病院の施設』『医療機器紹介』は、常に新しい技術・設備を取り入れ、少しでも患者さんに役立つ医療を提供したいとの思いに溢れた記事で、この伝統はその後の本誌にも引き継がれています。本号では同じタイトルで現在の情報を記載しました。

誌名「白いまど」は創刊時に公募されたものです。「病院の窓から外を見、外から病院を見、色のない話し合いをして、白衣は地域住民の医療機関の役目を果たしたい」との思いを込めたと記されており、まさに透明性が高く、隣人愛に溢れる聖隷の医療を表現しています。45年後の創刊1,000号を目指し、常に最新・最良の医療提供と開かれた病院運営を求め続ける聖隷浜松病院の現状紹介と、時々の医学情報を盛り込みながら、今後も本誌を発展させてまいります。

今月、B棟2階で“白いまど回顧展”を開催しています。本誌を通じて病院の歩みに触れるとともに、懐かしい写真をお楽しみください。

広報委員会 委員長 眼科 部長 尾花 明

はじめに愛があった。

人間の生命を救うために、私達は前進する。

昭和33年、当時衆議院文教委員長をしていた聖隷福祉事業団理事長・長谷川保は、公務のためアメリカを、そして翌34年には更にアメリカ、カナダ、全ヨーロッパを調査に行きました。その時、これらの国々の医療や福祉の事情をも調査し、その結果、当時聖隷三方原病院で盛んに施行していた外科手術で肺結核を治療する方法は急速に、化学療法に転換していること、そして、肺結核は病気として山を越えてしまったこと、日本でも間もなくそうなるであろうと予見しました。そこで、聖隷としてこの地方の皆さまが困っている病気の解決に新しい奉仕をするには、何をなすべきかを考えました。

そして、世界の文明国の死因の第一は心臓病であり、日本もやがて、そうなるであろうという考えに致りました。

幸いなことに、東京女子医科大学の榊原任教授は、心臓外科の世界的権威であり、理事長の女婿である猪俣和仁医学博士がその門下に学んでいる。静岡県内では、未だ心臓外科のできる病院が、当時は一つもなかったもので、ここに1億2千万円を投じて、聖隷浜松病院を住吉に建設しました。そして、心臓が奇形で生まれてきた、たくさんの子供たちやその他の心臓病の患者の治療をはじめたのです。

人の生命は全世界よりも尊い。その生命を救うためのみ、全力を投じて奮闘しているのが、聖隷浜松病院です。



●設立当時の
聖隷浜松病院

病院あさこち 《受付》

創刊号では「外来窓口（現：受付）」でのコンピュータ導入記事が掲載されています。1日約1,000人の外来患者さんの会計待ち時間を減らすための優しい心遣いが感じられる記事です。受診数が約1,600人に増加した現在も、患者さんに寄り添う姿勢は変わっておらず、本号ではその思いをお伝えします。

私たちは、初診や紹介患者さんの受付や保険証確認、さらには面会案内、文書受付、院内施設の案内、駐車券交換、忘れ物管理などの業務を通じて、患者さんが来院から帰院まで安心して医療を受けられるようにサービスを提供しています。患者さんに寄り添う気持ちを忘れず、今はマスクを着用していても、マスクの下は笑顔で、思いやりをもって接するよういつも心がけています。

2021年10月からマイナンバーカードを健康保険証として利用できるようになりました。新システムを積極的に導入するなど、患者さんに少しでも気持ちよく受診していただくにはどうすればよいかを考えながら、職員一同、日々職務に励んでいます。



●C棟1階受付

病院の施設

創刊号では「人工腎臓センター（現：腎センター）」が紹介されています。当時は1階にあり、20床のベッドからは南面に広がる窓外の花いっぱい道路や学校が眺められると書かれていました。現在はA棟8階に移転し、57床に拡充されました。窓からの眺めは格別で遠く富士山も望めます。その腎センターが2018年まであったS棟が生まれ変わります。

2023年春の竣工に向け、新S棟建築工事が始まりました。新S棟では地下1階と1階に患者さん用駐車場ができ、駐車場不足の緩和が期待されます。3階のアイセンターは手術室3室を併設し、眼科・眼形成眼窩外科診療を行います。4階は感染対策を強化した病棟になります。また、秋頃にはA棟、B棟、C棟、S棟、PETセンター、医局管理棟のすべてを繋ぐ改修工事が完了し、移動が便利になります。

工事中は騒音や振動等でご迷惑をおかけしますが、地域医療の中核病院としての機能強化をさらに目指してまいりますので、何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



●S棟外観イメージ

医療機器紹介

創刊号では「県下で初めて脳障害の症状が正確に診断できる、コンピュータ利用の『C.T.』を導入しました」として、当時は珍しかったCTが紹介され、毎日10名の検査をしていると書かれています。現在は1日に約150件です。この45年で医療は大きく進歩しました。現在の最新医療機器を紹介します。

■手術支援ロボット「ダビンチ」

術者が遠隔で（患者さんと離れた場所から）、内視鏡画像を見ながら複数のロボットアームを操作し、アーム先端に装着したハサミやピンセットを使って患部を治す手術です。高精細画像による病巣確認とロボットアームの細かい動きで正確かつ効率的な手術が行えます。



©インテュイティブサージカル合同会社

対応疾患… 泌尿器科：前立腺がん・腎がん、婦人科：子宮筋腫・子宮体がん、大腸肛門科：直腸がん、上部消化管外科：胃がん、呼吸器外科：縦隔腫瘍・肺がん

■サイバーナイフ（放射線治療装置）

ロボットアームを用いた高精度と自由度を兼ね備えた次世代の定位放射線治療装置です。さまざまな角度からピンポイントで病巣に放射線を照射でき、従来は治療の難しかった症例も治療できます。入院の必要がなく外来通院での治療が可能ため、仕事を続けながらでも治療を受けることができます。



対応疾患… 頭蓋内疾患、頭頸部疾患、体幹部疾患（肺がん、肝がん、前立腺がんなど）、脊髄・脊髄疾患など

インフォメーション

JCI、再認証を取得

当院では、患者安全の徹底、医療の質の向上を目指し、2012年11月より国際的な医療機能評価機関（JCI: Joint Commission International）を受審しています。この度4回目の更新審査を受け、再認証を取得しました。



イベント情報

市民公開講座（申込不要）

第3回 みんなで健康ゼミ

オンライン

テーマ：聖隷浜松病院のむねの医療

当院が提供している医療を分りやすく紹介する本講座、第3回目のテーマは呼吸器です。代表的な肺や気管支疾患の症状、それに対して当院ではどのような診療を行うかについてお話しします。YouTubeで配信しますので、ぜひご覧ください。

プログラム

- ①（仮）健康診断からわかること 聖隷健康診断センター 岡部 浩典 医師
- ②「咳が続く、痰が出る、息苦しい」ときの肺の病気。あなたの肺は健康ですか？ 呼吸器内科 橋本 大 医師
- ③ 外科医が受けたい肺がん手術 呼吸器外科 中村 徹 医師

▶ オンライン配信… 3月5日（土）10:00～11:00

※見逃し配信：3月14日（月）～21日（月）

詳しくはホームページをご覧ください

▶ 問い合わせ ……学術広報室 TEL 053-474-2753



新任医師紹介

泌尿器科

コジマ イッペイ
小嶋 一平

高知大学
（2005年卒）
※1月着任



整形外科
ホンダ タカヒロ
本多 高弘

東京慈恵会医科大学
（2018年卒）
※1月着任



整形外科

エンドウ コウイチ
遠藤 浩一

東海大学
（2016年卒）
※1月着任



外科
ナカムラ
中村 みのり

秋田大学
（2019年卒）
※1月着任





聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,500円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話が繋がりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳/痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明

ホームページ

<http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/>

聖隷浜松病院

検索